

## 小学校〈総合的な学習の時間〉実践報告

我孫子市子どもの権利条約理解講座

# 「自分自身の生き方を考える」

我孫子市立新木小学校での6年生の総合的な学習の時間の実践を、今村博子先生に報告していただきました。



新木小学校

### I 活動について

本校は、昭和55年4月に開校した。本学区は、我孫子市の東側に位置し、手賀沼と利根川にはさまれ、遠く筑波山を望み、水田や緑地に恵まれた首都圏の近郊農業地帯である。近年は、新木駅の南側が宅地開発中で、新たな住民も増えてきている。

学校教育目標は「心豊かでたくましく自立する子」で、合言葉の「あらかっ子 いい声 いい顔 いい姿」をもとに明るく楽しい学校生活を送っている。また、本校は我孫子市が推進する『子どもの

権利条約の啓発を人権教育の一つとしてとらえ、子どもたちに学校の授業の中で「子どもの権利条約講座」を推進する事業』に積極的に参加している。今年度も、年間の学校教育活動を調整、整理する中で、(公財)日本ユニセフ協会の方に講師派遣を依頼して授業を行った。そのねらいとしては、自分自身の生活を振り返ると同時に、同じ地球に生きる世界の子どもの生活や現状に目を向け、子ども自身の生き方について考える機会となることを願った。

### II 学習活動(45分×2)の流れ

#### 1時間目

- ①自分たちの日常の生活を振り返る。
  - 質問をもとに確かめる。
- ②世界の子どもの現状を考え、問題をつかむ。
  - アフリカ、ギニアの2人の少年の話聞いて考える。
- ③世界の子どもの現状や問題を整理する。
  - ビデオ「ユニセフと地球のともだち」を視聴する。



マラリア予防の蚊帳の体験

#### 2時間目

- ④世界の子どもの現状や問題を確かめ、ユニセフの活動を知る。
  1. 5歳未満の子どもの死亡とその原因について知る。  
マラリア予防の蚊帳を体験し、マラリアを防ぐ工夫について知る。
  2. ネパールの水がめを運び、その重さや運ぶことの大変さを実感し、学校に通えない現状を知る。
  3. タバコまきの少女の話から、その労働の苦勞や問題の背景を考える。
- ⑤資料「子どもの権利条約カードブック」を参考に、子どもの権利について考える。
- ⑥自分たちにできることを考え、学習のまとめをする。



子どもの権利条約を読む

### III 児童の感想

- 日本では学校に行くのがあたりまえなのに、他の国では、「学校に行きたくても行けない人があるんだ」と思った。
- さいしょは、かわいそうだなと思ったけれど、しょうらいの夢があり笑顔がすてきで、一生けん命働いていてすごいなあと思った。
- ぼくは、はたらく子どもをなぜ保護できないのかと思いました。ユニセフの活動がよくわかりました。

### IV 成果と課題

「毎日3食きちんと食べているか」「風邪をひいたことがあるか」等のユニセフの方の問いかけは、初めて自分の生活を振り返る機会を児童に与えてくれた。今まで「あたりまえ」と思っていたことに「感謝の心」を持つこと、そして「人の心や命」がいかに大切かを、様々な事例を通じて痛感することができた。VTRを視聴し、涙ぐむ児童が、同情ではなく『共存』の考えを持ち、自分には何が出来るかを考えていけるよう支援していきたいと思う。